

# 事務事業評価表

## 1. 基本事項

作成日 令和04年06月08日(水)

事務事業		救助活動事務				担当課	花園消防課	担当係	花園消防署	管理番号	4526
総合計画	大項目	4	安心とやすらぎを感じられるまち				事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			
	中項目	1	備えができ安全・安心なまちづくり				根拠法令 個別計画等	・消防法 ・高圧ガス保安法 ・消防組織法 ・銃砲刀剣類所持等取締法 ・消防力の整備指針 ・深谷市消防警防規程			
	小項目	2	消防・救急体制の充実								
	主要プロジェクト										
事業概要		火災、交通事故及び水難事故をはじめとする各種災害から迅速に人命を救うため、特殊な装備や資器材を備えた車両及び高度で専門的な知識と技術を身に付けた隊員を配備し、各種災害現場において迅速・確実かつ安全な救助活動を遂行する。									
目的 ※何のために		市民の生命、身体及び財産を火災や各種災害から保護するとともに、被害の軽減を図ることを目的とする。									
対象 ※誰・何を対象に		市民の生命、身体及び財産。									
手段 ※どのように		複雑多様化する各種災害に対応するために、訓練、研修等を実施し技術、知識の向上を図るとともに、各種装備、資器材の点検、整備を実施し、常時使用可能な態勢を整えることで迅速な救助活動を遂行する。									
成果 ※何を求めるか		各種災害現場における救助活動時間の短縮、年間計画に基づく訓練の実施及び各種装備資器材の点検、整備状況を把握する。									
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他（ ）									
事務事業を構成する 予算事業		区分	款	項	目	細事業名				前年度決算額（円）	
本事業の 主な業務		・救助活動等災害対応業務					・				
		・救助資器材の維持管理業務					・				
		・各種救助訓練の立案、調整、実施に関する業務					・				
		・管内の警防計画業務					・				
		・管内における危険場所、箇所等の調査及び啓発					・				
		・救助活動記録票、統計及び即報の作成事務					・				

## 2. 事業費（投入コスト）

単位：円

区分			平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画								
事業費	予算（現額）		0	0	0	0	0	0
	決算額		0	0	0	0	0	0
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0	0
		他特定財源	0	0	0	0	0	0
		一般財源	0	0	0	0	0	0
人件費	従事職員数（人）	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	
	人件費相当試算※	777,900	778,200	786,100	813,600	776,192	813,135	
総事業費試算			777,900	778,200	786,100	813,600	776,192	813,135

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
	目標値の算定根拠/実績値の出所		実績値							
	実績値の算出式									
活動指標 1	救助出場件数（暦年）		目標値	件						
			実績値		45	74	55	59	67	
	目標値の算定根拠/実績値の出所		救助出場件数のため目標値の設定に値しない。 / 出場件数							
	実績値の算出式									
活動指標 2	訓練・研修回数		目標値	回	32	32	32	32	32	32
			実績値		32	32	32	32	32	
	目標値の算定根拠/実績値の出所		年間訓練計画表に基づく訓練実施回数。（消防救助技術指導会訓練を除く。） / 実施回数							
	実績値の算出式									
活動指標 3	資器材点検実施率		目標値	%	100	100	100	100	100	100
			実績値		100	100	100	100	100	
	目標値の算定根拠/実績値の出所		100%の資器材点検を目標とする。 / 実施日／365日×100							
	実績値の算出式									
成果指標 1	資器材常時使用可能率		目標値	%	100	100	100	100	100	100
			実績値		100	100	100	100	100	
	目標値の算定根拠/実績値の出所		車載されている全資器材の常時使用可能率。 / 使用可能数／全資器材×100							
	実績値の算出式									
			目標値							
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
			目標値							
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。  
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。  
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。  
（評価基準）（A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない）

（1）事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	訓練・研修回数は、年度当初に策定した年間訓練計画に基づき計画的に実施した。資器材点検は装備品を含めて日常・週間・月例点検を計画どおりに実施した。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	車載している資器材は、救助隊が出場し救助活動を実施した事案はもとより、訓練時においても異常なく使用できたため、使用可能率100%を達成できた。
			評価者 救助係長 町田敏之・野辺敏之

（2）事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。  
（評価基準）（A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない）

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	B	ICT等の利活用によって効率的に訓練、災害対応を行う環境が整いつつある。今後、Web会議システムを用いた当直中における集合研修の参加、災害現場映像を用いた署分署間の活動内容検証等に活用することで、より効果的・効率的な活動に繋がることが期待できる。
			評価者 救助係長 町田敏之・野辺敏之

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和2年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	新型コロナウイルスの感染拡大が収束しない社会情勢を踏まえ、災害現場における新型コロナウイルスをはじめとした様々な感染症による職員への感染防止徹底を図り、感染者及び感染疑いである要救助者と接触した場合には、職場での集団感染を防ぐことが強く求められている。そこで、職員の更なる意識高揚を図りながら、感染防止が徹底された現場活動をするための職場内研修を行う必要がある。
達成状況及び その効果	年度当初に感染防止対策を確認し、自隊が出場する場合はもちろんのこと、他隊が出場する際も感染防止が徹底されているか随時声を掛け合い、対策が緩慢にならない職場環境を醸成することができた。 その結果、災害対応したことで感染の疑われる職員が発生した事案はなかった。

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	救助活動事務	担当課	花園消防課	担当係	花園消防署	管理番号	4526
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		<div>評価の内容説明</div> <div>本事業は、市民の安全・安心を確保するうえで欠かすことのできない事業である。年間訓練計画に基づいた訓練や、自隊での訓練を年間を通じ実施し、隊員育成を図るとともに資器材の維持管理を行うことで組織力を強化、複雑多様化する災害に対し安全・確実・迅速に対応していく必要がある。</div>					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者	花園消防署長兼花園消防課長 小暮 誠				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和4年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	複雑多様化する災害により適切に対応するため、管内の災害種別ごとの発生傾向を分析し、傾向に応じた装備・資器材を充実させる。また、救助技術の調査・研究を行い、知識・技術を習得する。 また、「ふかや花園プレミアムアウトレット」等での災害に対応できるよう、平日と土日・祝日等の渋滞を考慮したルートを調査研究し、火災等の災害を最小限に止めるため、活動に必要な計画を作成し対応訓練を実施する。
令和5年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	救助資器材の中には高額で特殊な仕様のあるものがあるため、経年劣化および耐用年数を考慮しつつ、予算規模に応じた維持管理や更新計画の策定が必要である。

8. 評価指標グラフ

